



2024年度

Diversity Report

山形大学ダイバーシティ推進室
活動報告書



山形大学ダイバーシティ推進室

ご挨拶



伊藤 眞知子

山形大学理事・副学長
ダイバーシティ推進室長

山形大学ダイバーシティ推進室（以下、推進室）の事業に対して、日ごろからご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございます。

推進室は、「山形大学男女共同参画基本計画（第2次）」（令和2年度～令和11年度）に基づき、男女共同参画及びダイバーシティを一層推進し、本学の学生・教職員が性別、性的指向・性自認等にかわりなく、あらゆる活動において個性と能力を発揮でき、かつ、学業・仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を実現することをめざし、さまざまな取組を進めています。学長のリーダーシップの下、ダイバーシティ推進委員会が決定し、全学の推進組織である推進室と各キャンパスが連携協力し、一体となって具体的な事業を推進する体制となっています。令和6年度は、各種支援制度の拡充・利用促進を行うとともに、第8回「男女共同参画に係るアンケート調査」を実施しました。縦断的な定点分析結果を今後の事業・施策に反映させてまいります。では、令和6年度の主な事業を、以下で紹介します。

「教職員等の男女機会均等の実現・格差の是正」について、今年度は、「管理職に占める女性割合20%以上」（令和6年5月1日現在20.78%）ならびに「役員、副学長、部局長、経営協議会委員、教育研究評議会評議員20%以上」（同25.0%）の数値目標に一応の達成をみました。上位職の女性比率のさらなる向上をめざして、数値目標を設定し、全学的に取組んでいきます。次に、「教育・研究及び就労と家庭生活との両立のための環境作り」に関しては、性別にかわりなく利用できる「研究支援員制度」「研究支援員へのノートパソコン貸出（新規）」「各種保育利用料補助制度」「学会等参加時の保育・介護支援制度」「研究中断からの復帰支援制度」に加えて、「女性管理職支援制度」「女性研究者へのノートパソコン貸出」を実施しました。HPに利用者の

声を掲載して、利用促進を図るとともに、制度の拡充・改善に努めました。また、「女性研究者の裾野拡大」については、「山形大学女性大学生ネットワーク（山大JOIN）」が新たなメンバーを迎え入れて、大学院での研究活動や大学院生の生活を紹介する交流会や、学生向けの「プレゼンスライドの作り方・使い方講座」（全4回）、高校への出前講座を実施して、自主的・主体的に活動を展開しました。

「男女共同参画及びダイバーシティへの意識改革への促進」に関しては、6月の男女共同参画週間事業として、「LGBTQA当事者のつまずきポイント～山形在住当事者の視点から～」をテーマにセミナーを開催（オンライン同時配信ならびにHPにおけるオンデマンド配信）、学内のみならず、広く市民に公開して、多くの方に視聴していただきました。また、12月に横山広美東京大学教授（本学経営協議会委員）による講演会「なぜ理系に女性が少ないのか～社会風土と今後の戦略を考える」を開催し、全国ダイバーシティネットワーク組織東北ブロック及びやまがた社会共創プラットフォーム・ダイバーシティ推進ネットワーク会議の教職員とともに学び考える機会としました。

さて、大学は社会に先んじて、ダイバーシティ（多様性）やインクルージョン（包摂性）という新しい価値を自ら実現し、教育・研究・社会共創を通じて、未来の社会を先取りし先導していく使命を持っています。多様な学生・教職員が生き生きと学び働く、多様性あふれるキャンパスの実現は、教育・研究にイノベーションをもたらし、地域社会や産業界に有為の人材を輩出して活性化し、貢献することへとつながります。ひきつづき、ダイバーシティ推進の活動にご理解、ご協力を賜りますよう、また忌憚のないご意見をお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。

CONTENTS 【目次】

I. 男女共同参画行動計画と推進組織

① 目的・基本方針・令和6年度具体的施策（行動計画）	05
② ダイバーシティ推進委員会委員	11
③ ダイバーシティ推進室員	12
④ その他の活動	13

II. 2024年度活動報告

① 意識改革	
(1) 山形大学男女共同参画及びダイバーシティセミナー LGBTQA当事者のつまずきポイント～山形在住当事者の視点から～	14
(2) 令和6年度 山形大学男女共同参画及びダイバーシティフェスタ ～だれもがどれも選べる社会に～	15
(3) 山形大学男女共同参画及びダイバーシティ講演会 なぜ理系に女性が少ないのかー世界と日本の潮流	16
(4) 学長・学部長と女性研究者との懇談会	17
(5) 多様な性に関するガイドライン	18
② 仕事と育児等との両立支援	
(1) 各種保育利用料補助制度	19
(2) 研究支援員制度	20
(3) 研究支援員へのノートパソコン貸出	21
(4) 学会等参加時の保育・介護支援制度	21
(5) 女性管理職支援	22
(6) 女性研究者へのノートパソコン貸出	23
(7) 研究中断からの復帰支援制度	24
③ 女性研究者の裾野拡大	
(1) 女性研究者裾野拡大セミナー	25
(2) 山形大学女性大学院生ネットワーク（略称 山大JOIN）	27
(3) 令和6年度基盤教育・ジェンダー関連授業	29
④ 表彰制度	
(1) 令和6年度「山形大学男女共同参画及びダイバーシティ推進賞」授与表彰式	31
⑤ アウトリーチ活動	32
⑥ 広報活動	34

III. その他の活動

① 生理用品の無償配布	36
-------------	----

IV. 資料

① 山形大学の男女別教員数と女性割合	37
② 国立大学法人山形大学 女性活躍推進法に基づく行動計画	38
③ 国立大学法人山形大学 次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画	39

V. 男女共同参画に係るアンケート調査結果報告

1 実施概要	40
2 調査結果	45
2-1 回答者のプロフィール	45
2-2 ライフについて	50
2-3 ワークについて	59
2-4 ワーク・ライフ・バランスについて	69
2-5 男女共同参画及びダイバーシティについて	76
2-6 取組の周知度と今後必要な支援	93
2-7 まとめと今後の課題	107
【第8回調査の結果概要】	107
【第6回調査との比較】	113
【施策の効果】	114
【今後の課題】	117
3 資料編	120
3-1 調査票	120
3-2 自由回答	131
3-3 集計表	137